

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	島根県			代表者名	丸山 達也
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	地域振興部地域政策課デジタル戦略室	連絡先電話番号	0852-22-6910
担当者役職	主幹	担当者氏名	森脇 翔	連絡先E-mail	
住所	690-8501 島根県松江市殿町1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進事業
概要	県庁職員及び市町村職員を対象としたDX機運醸成のための講演の実施		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	164	令和6年10月29日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年9月4日	講演(実地)	10時00分	11時30分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	島根県職員会館多目的ホール		最寄駅	松江駅
	所在地	島根県松江市殿町1番地		最寄駅からの交通手段	バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	円城寺 雄介
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	行政の一般職員の目線に立った講演内容であり、聴講した職員にも行政職員として取り組むDXを具体的に自分事として捉えて頂くことができる内容の講演であった。 また研修終了後に講師との繋がりを希望する職員もいるなど、講演内容に刺激を受けた職員が出たことは大変良かった。
アドバイザーへの要望事項	要望ではありませんが、アドバイザーのような経験をお持ちの方は非常に希有であり、公務員の志願者が減っている昨今において、DXに限らず行政の仕事に魅力を感じて頂くことができるような取組をされていると思いました。アドバイザーの今後のご活躍にも期待しております。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	72人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	72			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	県内ではデジタル田園都市国家構想金(デジタル実装タイプ)などを活用した地域でのデジタル実装の取組が進みつつあるが、市町村に比べ県での取組はデジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)の採択件数などからみても低調な状況である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	昨年度は民間人材によるDX機運醸成のための講演を実施したところであるが、地域課題をデジタルを活用して解決する取組の機運をさらに醸成させるため、今年度は他自治体の行政職員の方にご講演を頂くことで、デジタルを利用した解決手法をより具体的なものとして捉えることができる研修内容として実施する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	10/29(水)10:00~11:30に県及び市町村職員を対象にしたDX講演を実施。 <参加者数> 全体：72名 (うち現地参加14名、オンライン参加58名)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講演の開催にあたり参加者を募ったところ約70名の県及び市町村職員に参加して頂けた。特に県職員については、自主的に参加をした職員であり、デジタルを活用して地域課題解決に取り組みたいなどの意欲を持つ職員に対して、講演を通じて具体的な取組事例を提供することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	現在(11/7時点)受講者にアンケート実施中	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 現在(11/7時点)受講者にアンケート実施中	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	意欲のある職員が地域課題に対してデジタルを活用した取組を実施するために必要となるデジタルスキルの向上のための施策を実施する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	行政のデジタル化を加速させ、県民の利便性の向上や行政の効率化を図ることで、島根創生として目指す「活力ある産業をつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「地域を守り、のびす」「島根を創る人をふやす」「健やかな暮らしを支える」「心豊かな社会をつくる」「暮らしの基盤を支える」「安全安心な暮らしを守る」の8つテーマを推進することを目標とする。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
<p>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		
<p>講演時の写真撮影を失念していたため、代わり以下の2つの資料を添付いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●別紙「議事録」のとおり ●別紙「参加者名簿」のとおり 		